

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月25日

計画の名称	朝来市における魅力的な町並みの形成（第3期）													
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	朝来市													
計画の目標	生野地区及び竹田地区の生活文化の様式を今に伝え伝統ある地域の個性を表すとともに、高齢者や障害者など全ての人がゆとりとやすらぎを持って暮らせる町並みの形成を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		422	A	422	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	地区来訪者数 117千人／年（R1年）から推計105千人／年（R7年）を111千人／年（R7年）に増加「生野地区」 地区来訪者数を調査 生野地区に訪れる地区来訪者数について、兵庫県が実施する観光客動態調査から算出する。	117千人／年	千人／年	111千人／年
2	地区来訪者数 404千人／年（R1年）から推計218千人／年（R7年）を242千人／年（R7年）に増加「竹田地区」 地区来訪者数を調査 竹田地区に訪れる地区来訪者数について、兵庫県が実施する観光客動態調査から算出する。	404千人／年	千人／年	242千人／年

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
【参考：R7末推定値】生野地区：105千人／年（当初比90％）竹田地区：218千人／年（当初比54％）												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	朝来市	直接	市	—	—	街なみ環境整備事業（生野地区）	地区施設（通路）整備等	朝来市	■	■	■	■	■	265	3.75	—	
	A16-002	住宅	一般	朝来市	間接	民間	—	—	街なみ環境整備事業（生野地区）	協議会活動助成、修景施設整備等	朝来市	■	■	■	■	■	115	3.75	—	
	A16-003	住宅	一般	朝来市	直接	市	—	—	街なみ環境整備事業（竹田地区）	修景施設整備等	朝来市	■	■	■	■	■	22	30.88	—	
	A16-004	住宅	一般	朝来市	間接	民間	—	—	街なみ環境整備事業（竹田地区）	その他大臣（道路美装化）等	朝来市	■	■	■	■	■	20	30.88	—	
												小計						422		
												合計						422		

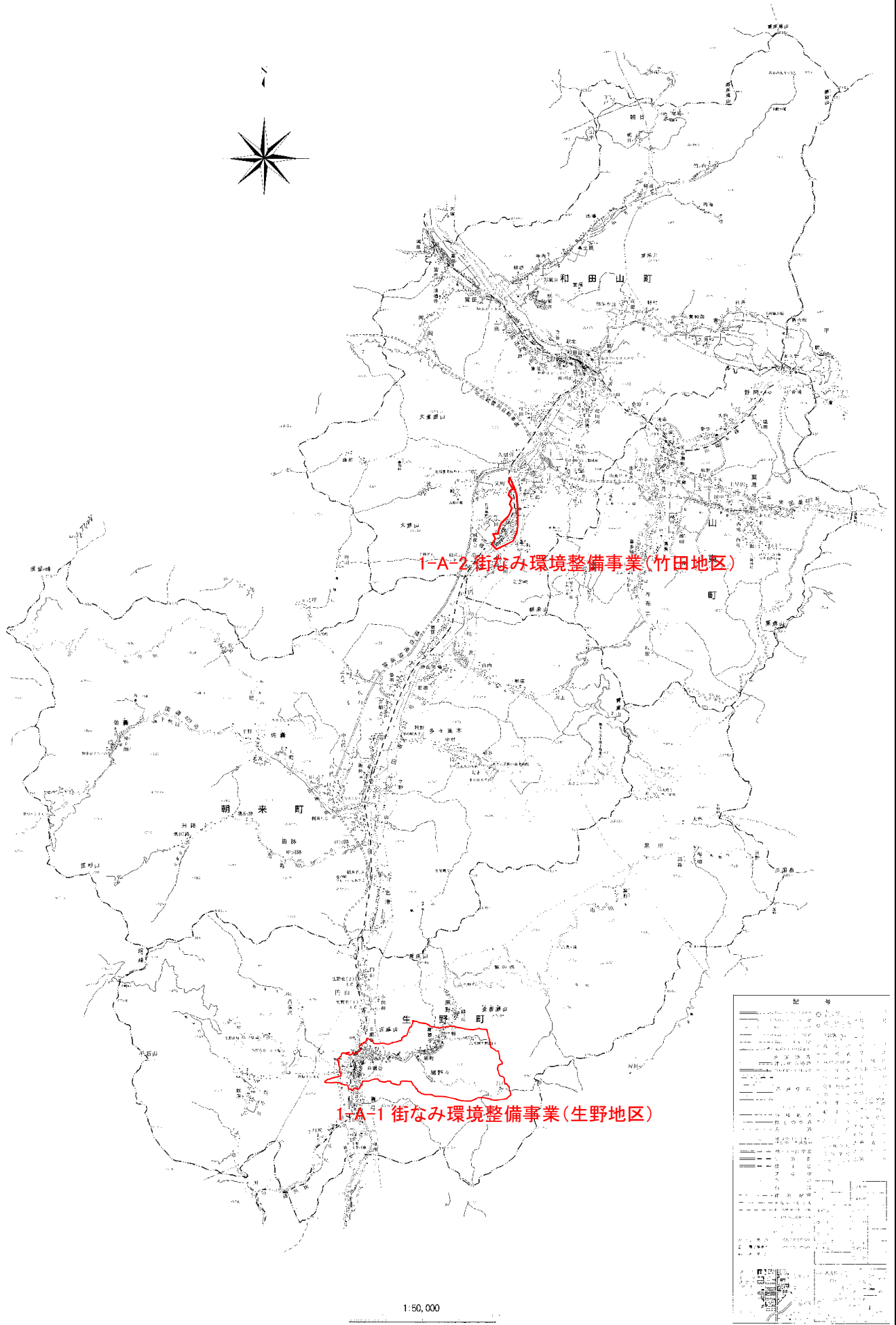
(様式3) (参考図面)

計画の名称 1 朝来市における魅力的な町並みの形成 (第3期)

計画の期間 令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)

交付対象

朝来市



街なみ環境整備方針説明書

都道府県	兵庫県		市町村名	朝来市	区域名	生野地区
区域現況	区域の概況	生野地区は生野銀山を擁する地域として、銀山の発展とともに町なみが形成されたところで、鉱山町の風情が色濃く残る伝統様式建物などが分布している。景観形成地区として、生野の歴史的、風土的特徴を生かしたうおいとやすらぎのある町なみ景観の創出を住民と一体となって取り組んでいる。				
	道路の現況	国道312号が口銀谷地域を南北に縦貫し、広域と当地区とを結ぶ役割を果たしており、国道429号は口銀谷地域と奥銀谷地域とを結ぶ重要な軸となっているとともに、当地区のメイン道としての性格も担っている。 なお、口銀谷地域においては主に南北道路の幅員が4m以下のものが多く、奥銀谷地域においては、国道429号への地域内経路の幅員が狭く、また自動車が通行可能な道路が少ないことから、両地域ともに交通利便性での課題がある。				
	公園等の現況	当地区の中心を市川が流れており、生野地区のまちの重要な骨格を形成しており、市川の沿岸には遊歩道や公園が整備され、地域住民や観光客の憩いの場となっている一方、市街地には空地や駐車場等が目立つものの、公園は少ない。				
	地区住民のまちづくり活動の概要	口銀谷地域においては、平成11年度より街なみ環境整備事業が行われており、住民サイドとしても「口銀谷の町なみをつくる会」中心となり、各種ワークショップや、先進地視察などを行い、住民の景観に対する意識の高揚を図り、住民と行政とが一体となって口銀谷の町なみづくりを進めている。 奥銀谷地域においては、「かながせの人・まち・未来の会」が中心となり、ワークショップを行い、まちづくりに関する協議を進めており、今後の計画推進へ高い意欲をもって臨んでいる。 また、生野地区として、鍛冶屋町通りを中心とし、景観資源や歴史資源を活用した住民・行政協働のイベント「銀谷祭り」を開催、1万人以上の観光客が訪れている。				
区域の整備に関する基本方針	整備の目標	朝来市生野町の口銀谷地域及び太盛地域、奥銀谷地域において、鉱山町として栄えた面影が残る地域特性を景観・街なみの観点から伸ばし、若年層の雇用促進・定住促進を図るための方策を検討し、活気ある生野を創造することを目的とする。				
	整備の時期	平成28年度から令和7年度				
	地区施設の整備に関する基本方針	通路等	口銀谷地域においてはすでに整備が進んでいる部分と同様の美装化を行う。奥銀谷地域においても口銀谷地域とのルートの連続性をもたせるために通路は自然色舗装で修景するとともに、側溝には板石を使用する等、歴史的景観に配慮したものにす。			
		小公園等	住民が集い、憩える場所としてポケットパークなどを整備し、散策道のネットワークポイントとして位置付ける。また、眺望地点の整備を進め、街なみを一目で感じるスポット整備を進める。			
		その他	通路の修景整備による効果を高めるため、地域のごみステーションの修景を行い、一体的な景観の向上を目指す。			
	に住宅等に関する基本整備	住宅	景観形成基準による建築物等の修景を促進し、景観に配慮した住宅建設を誘導するために助成制度により支援する。また、文化的景観事業と連携し、相乗効果をはかりながら生野地区全体の景観保全に努めていく。			
		敷地	空地等については町なみの連続性を損なわないように、伝統的な材料を使った塀、柵等の設置を進める。			
その他の事項						

街なみ環境整備方針説明書

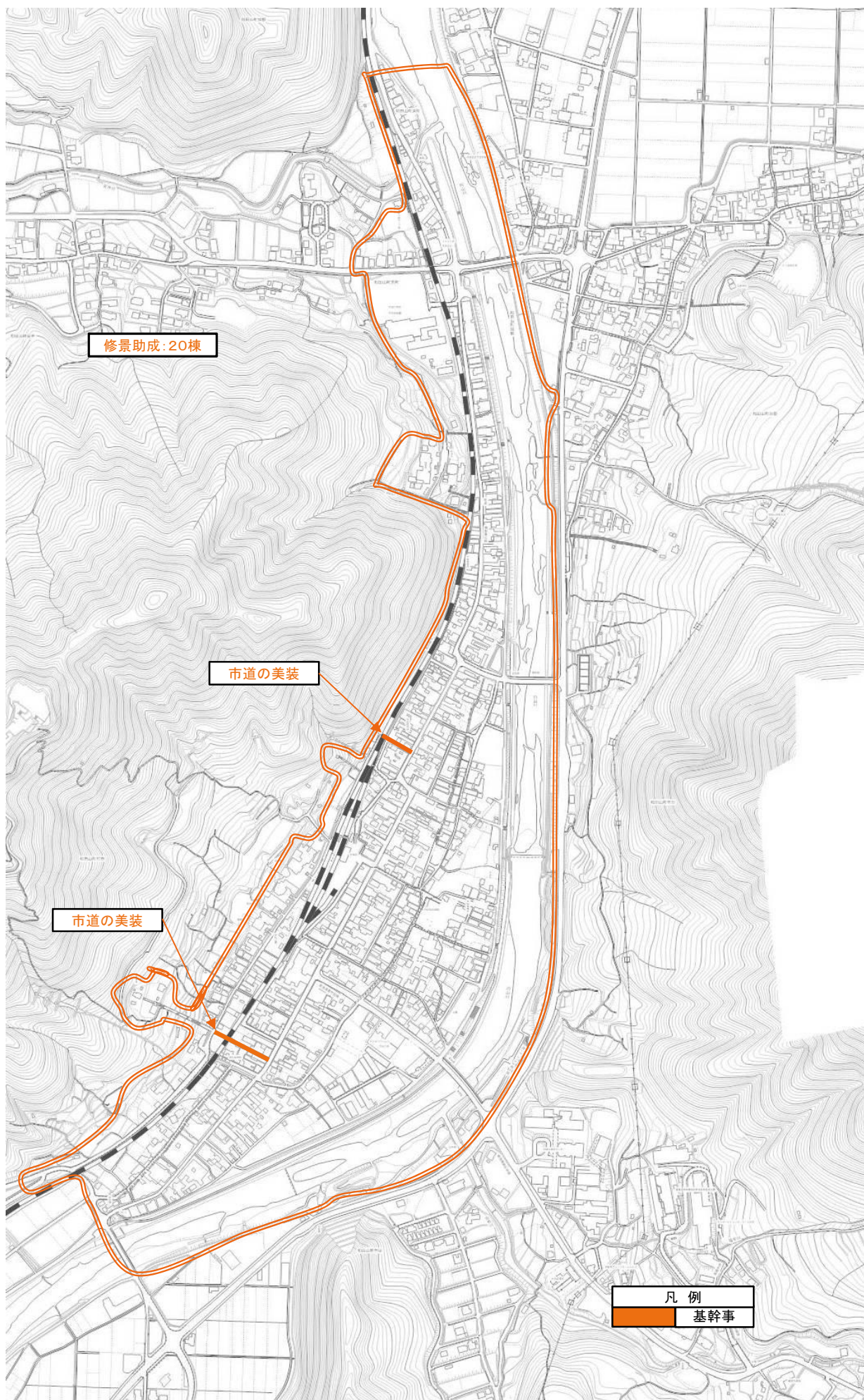
都道府県	兵庫県		市町村名	朝来市	区域名	竹田地区
区域現況	区域の概況	<p>当地区の西側には古城山（353m）がそびえ、その頂上には国の史跡に指定されている竹田城跡がある。山城遺構として全国でもまれに完存する遺構で別の名を“虎臥城”とも呼ばれている。また、竹田城跡をはじめ寺院群が集積する良好な歴史的街なみが形成されており、県の「景観形成地区」に指定されている地区である。近年は歴史・山城ブームにより、竹田地区への観光客の入込数は増加してきている。</p>				
	道路の現況	<p>当地区の幹線道路の県道物部藪崎線は、和田山方面に至る地域住民の重要なアクセス道路になっている。また、地区内は城下町当時の敷地形態を留めているため、生活道路は狭隘となっている。</p>				
	公園等の現況	<p>地区内は密集しているため、住民に開放された小公園や広場がなく、うるおいに欠けていたが、第1期街なみ環境整備事業の取組でポケットパークを整備することにより、地元区民はもとより増加をしてきた観光客にとっても憩いの場となっている。</p>				
	地区住民のまちづくり活動の概要	<p>景観形成区域は10地区あり、景観の地区指定がされる以前の平成3年頃から、各区長が中心となって「竹田のまちづくり」の検討会を重ねてきた。平成15年に竹田地区まちづくり推進協議会を立ち上げ、第1期街なみ環境整備事業に取組みをしてきた。</p>				
区域の整備に関する基本方針	整備の目標	<p>生活道路や歩道を整備することにより、住環境の改善を図り、道路や公民館などの公共施設を景観形成基準に適合するよう改善し、官民一体となった景観形成による竹田らしいまちづくりを目指す。</p>				
	整備の時期	<p>平成17年度から令和7年度</p>				
	地区施設の整備に関する基本方針	通路等	<p>竹田城の築城と共に発展した城下町の敷地形態の竹田地区内の住宅は間口が狭く奥行きが長く家が密集しており、生活道路は狭隘となっている。この生活道路を、竹田地区と調和するような美装化を図る。また、竹田地区に訪れる観光客が地区内を周回できるよう、歴史的雰囲気を大切にしながら特色ある道路を創出し、楽しくゆとりのある空間を整備する。</p>			
		その他	<p>景観形成地区の核となっている「竹田城跡」は観光の名所であるため、景観に配慮した案内看板を設置する。</p>			
	住宅等に関する整備基本事項	住宅	<p>景観形成事業により「竹田城跡景観形成ゾーン」をはじめとした核ゾーンの特性に応じた統一感ある景観誘導を図る。</p>			
		敷地	<p>景観形成基準による門・塀・生垣等の設置で街なみの連続性を確保する。</p>			
その他の事項						

(様式3) (参考図面)

計画の名称 1 朝来市における魅力的な町並みの形成 (第3期)
計画の期間 令和3年度～令和7年度 (5年間)

交付対象 朝来市

地区名: 竹田地区



事前評価チェックシート

計画の名称： 朝来市における魅力的な町並みの形成（第3期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②景観形成を図るべき地域として位置付けられている。（地域名称等：竹田地区、生野地区）	○
I. 目標の妥当性 ③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
I. 目標の妥当性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
I. 目標の妥当性 ④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 ③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○